

# 生命はいかに辿るべきか

## 新科学・歴史観シリーズ①

今日ほど我々生活者が、生命や人類とは何なのか、その行く先はどうなるのか？  
ということを考えさせられる時代はなかったであろう。

毎日のように新聞を騒がせる温暖化問題や遺伝子・生命操作、世界的な感染症  
の伝播、テロ・難民・飢餓・災害などはどれも事態の深刻さを伝えている。

今や難問山積みの如くである。だが一つ一つの問題を、ある特定の分野に限った  
専門的な見方では、詳しく事態をつかまえているようで決して全体の抱える問題点  
をとらえることはできない。

なぜなら、今日の地球的な多くの問題は、生命とか人類の本質や活動と結び付い  
て起きていることに他ならないからだ。

その点で重要なのは、普通に生活する一般生活者の見解である。

というのはあれこれの専門知識にとらわれない”素人”の一般生活者こそ、最も敏  
感に問題を感じ、広く見解ををもてるからである。

その点で筆者も、様々な問題に関心があるだけで何の専門家でもなく、一般生活  
者の一人に過ぎない。

でも本書では、一般人の立場から当然考えるべき、生命や人類の今日の重大な  
根本問題について、一般の中での議論をもとに必要と思われる考えを明らかにし  
ている。中には斬新かつ大胆な革新的な提起も試みている。

幸い、6年前の均整社の講演をもとにした拙書(「致命的犯罪＝生命操作」文芸社  
刊)で提起した数々の諸点は、DNA中心論の破綻をはじめ、その多くが次々と当  
たって驚くほどである。一般人からの提起がいかに重要で科学的な正当性がある  
かを、改めて痛感し、お陰で今ではそれが不動の確信となった次第である。

### 目次

- 1.生命の宇宙起源と地球的特徴
- 2.生命の本質と自然必然性
- 3.高度な生命活動～その秘密はどこにあるか
- 4.重力の決定的作用と生命の進化
- 5.動的な生命と進化の本質～突然変異自然選択説の大間違い～  
新事実で実証1　ネオダーウィン説を明確に否定！  
新事実で実証2　遺伝子無縁で形質が変わった！
- 6.新事実で見る動的生命論
- 7.生命=動的有機体と生命操作の犯罪性
- 8.人間生命の発展と矛盾
- 9.文明の本質と人類の大恐慌
- 10.新しい歴史観と新生命共同体

(十勝均整社刊 A4版 176頁)